

玉津スポーツ教室（バドミントン）【西条市】

～地域ぐるみで子どもの成長を支える～

◆活動の目的・理念

- 子どもたちの成長をさせ、地域と学校の連携・協働による教育活動(スポーツ)を推進する。
- 地域全体の教育力の向上をはかり、地域の活性化や子どもたちが安心して暮らせる環境づくりの推進

活動場所	玉津小学校体育館 玉津公民館	対象学校区名	玉津小学校	子どもの平均 参加人数	30 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 日・休業日等	8 日	9 : 00 ~ 11 : 30	活動のべ 日数	10 日
協働活動サポ ーターのべ人数	人	PTA会員、愛護班員、民生児童委 員、教員OB	ボランティア のべ人数	37 人	大学生、婦人会員、愛護班員、老 人クラブ、保護者
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布	連携・協力 機関・団体	西条市バドミントン協会		

取組の概要

<主な取組内容>

- 低学年は主にバドミントンの基礎を身に付ける
ラケット・シャトルの説明を受け、正しいグリップ（ハンドル）の握り方を教わった。バドミントンはどのような競技か知るために試合のビデオを観たり、バドミントンのラケットやシャトルに馴染む等を遊びの中で行った。
- 高学年はより実践的な練習
高学年は基礎プラス、ネット越しに手投げノックの練習や、飛んできたシャトルが体のどの位置に来るかで変わる、様々な打ち方の練習、バドミントンで重要なフットワーク（足の動き）など、実戦で使えるテクニックを分かりやすく指導を受けた。日程後半では試合を行い、練習した成果を発揮していた。



(バドミントン基礎練習)

児童・生徒の感想

- ・スマッシュを打つのが上手くなった。ラリーが続くようになった。楽しいので、また参加したい。

<特色ある取組>

- 「旗を使ってバドミントンの感覚をつかむ」
初心者でもコツがつかめるよう、旗などの道具を使ってどのように打てばシャトルが上手く飛ぶかの感覚をつかむ練習をした。上手く飛ばせるようになることで、バドミントンの楽しさを知り、意欲が高まった。



(バドミントン(旗を使った練習))

事業を実施して

【成果】

- 専門家の細やかな指導や、レベルの高い指導により、各人のレベルアップが図られた。
- 準備・片付けなどにおいても積極的に参加できた。

【課題】

- 活動内容のバリエーションを広げ、多くの児童が参加できるような環境を整える必要がある。